

消防団員の確保に向けたマニュアルの策定について

地域防災室

1 はじめに

地域防災力の中核である消防団は、令和6年能登半島地震等において、自らが被災しながらも、発災直後から住民への避難の呼びかけ、消防隊と連携した消火、倒壊家屋からの救助のほか、行方不明者の捜索や避難所運営の支援などの活動に懸命に取り組んでいただきました。

今後南海トラフ地震などの大規模災害等の発生が危惧される中、被害を最小限に留め、地域住民の命と安全を守るためには、日ごろからの備えが一層重要となります。

2 策定の経緯

大規模災害になればなるほど、地域に密着した消防団の力が重要とされる中、消防団員数は、社会全体の人口減少や少子化の進展、被用者割合の高まり等を背景に減少が続いており、地域防災力の低下が懸念される大変厳しい状況であることから、消防団員の確保を含め、地域防災力の充実強化に向けて一層取り組んでいくことが重要です。

このため、消防庁では、地域を支える消防団員の確保を図るため、消防団の魅力発信をはじめ、新規団員の確保策、現役団員の負担軽減や女性等が活躍できる環境づくりなど、団員確保のノウハウを9つのポイントに分け、各地域の優良事例を多数取り上げ、自治体を取り入れやすいよう体系的に掲載した、消防庁として初めての「消防団員の確保に向けたマニュアル」を作成しました。

3 マニュアルの項目について

本マニュアルについては、消防団の充実強化につながる以下の9つのポイントに分け、ノウハウと事例をまとめています。

その他、消防庁の消防団員確保等に関する施策や過去の通知を掲載しています。

1. 団員確保において最初に考えるべきポイント
 - ① 地域の現状を把握する
2. 消防団の魅力発信のポイント
 - ② 消防団の魅力を明確化する
 - ③ 認知度や関心度を高める
3. 新規団員確保に向けた働きかけのポイント
 - ④ 機能別団員・機能別分団制度を活用する
 - ⑤ 事業所との連携
 - ⑥ 大学等との連携
 - ⑦ 地域との連携
4. 働き方改革等の環境づくりのポイント
 - ⑧ 消防団の負担軽減等の働き方改革を進める
 - ⑨ ハード面等の環境整備を進める

4 おわりに

消防庁では、減少する消防団員の確保等に向けて、消防団員の処遇の改善など、様々な対策を講じているところです。

地方公共団体や消防団の皆様におかれましても、消防団の充実強化につながる取り組みを検討する際等、様々な機会に本マニュアルを積極的にご活用いただければと思います。



←消防庁消防団オフィシャルウェブサイトからダウンロードできます

【マニュアル掲載事例の紹介】

団員確保において最初に考えるべきポイント

- ①地域の現状を把握する
- ・消防団員や地域住民に対する聞き取り調査等の紹介

消防団の魅力発信のポイント

- ②消防団の魅力を明確化する
- ・地域貢献、人とのつながり、防災や救命処置のスキルの習得、報酬・福利厚生等のインセンティブなど、消防団の魅力を紹介
 - ・入団促進のターゲットの明確化
- ③認知度や関心度を高める
- ・地域住民が消防団員や消防団活動を目にして、消防団を身近に感じてもらうための、イベント、ポスター、広報誌、SNS等における広報の工夫点の紹介



団員の家族が楽しめるイベントの開催
 < 愛知県豊田市 >



SNSの投稿内容の工夫
 < 兵庫県尼崎市 >

新規団員確保に向けた働きかけのポイント

- ④機能別団員・機能別分団制度を活用する
- ・制度を導入する際の検討プロセス、注意点などの具体的手法の紹介
 - ・地域の実情や個人の特性に応じた機能別団員・機能別分団制度の検討

フェーズ1 議論	担当者	進捗状況	開始	終了
①種別、所属案(資料の作成)	●●	◇◇%	○/x	△□
②内部打ち合わせ				
③団幹部等との協議				
④各分団長への説明				
⑤幹部・分団長会議結果通知				
フェーズ2 調査・分析				
⑥他都市の状況調査				
⑦他都市ヘビリング				
⑧他都市の機能別団員制度の講義の受講				
⑨他都市の視察				
⑩市内や団へのアンケート・分析				
⑪分団員(副分団長や部長、学生)ヘビリング				
⑫定員の整理(機能別団員の人数の概算や方法)				
フェーズ3 手続き				
⑬条例改正(議案の作成・提出)				
⑭規則改正(作成・提出)				
⑮規程の制定				
⑯入団届所属替え届けの新設				
フェーズ4 リクルート				
⑰大学へアプローチ				
・協力事業所表示制度の説明				
・機能別団員制度の説明				
⑱入団希望者にアプローチ				
⑲機能別チラシの作成・配布				
⑳マスコミへの連絡(公布時と入団時)				
フェーズ5 予算、その他				
㉑消防団事務システム改修				
㉒予算要求(装備と報酬)				
㉓今後のビジョンの策定				
㉔機能別団員の運用方法				
㉕訓練の計画(機能別団員を交えた訓練)				

制度導入のタスクとスケジュールの整理
 <岡山県岡山市>

- ⑤事業所との連携
- ・地域に消防団と親和性のある業界や事業所の例やアプローチ手法の紹介
 - ・事業所の協力を得るためには、消防団に協力する事業所のメリットの紹介
 (消防団協力事業所・消防団応援の店)

- ⑥大学等との連携
- ・学生への効果的なアプローチ手法の紹介
 - ・大学等の協力を得るため、学生が消防団に関わる意義やメリットの紹介

徳島市学生消防団活動認証制度

地域に貢献する学生を応援します!!

◆企業の皆様へ
 採用希望者から「徳島市学生消防団活動認証証明書」の提出があった場合は、積極的な評価をさせていただきます。

①徳島市学生消防団活動認証制度とは?
 徳島市消防団で活躍する学生の功績を市長が認証し「就活活動を支援」することを目的とした制度です。

②対象者は?
 消防活動に1年以上、真摯かつ継続的に取り組み、顕著な実績を収め、地域社会へ貢献した大学生など(大学、大学院、各種専門学校など)です。

③企業へのメリット

- ① 地域防災活動の実績を通して、活動の課題に対し責任を持って主体的に取り組むことのできる人材かどうかの判断材料となります。
- ② 地域防災活動に関わることから、あらゆる世代との交流を通して、コミュニケーション能力の高い人材の確保が期待されます。
- ③ 命令系統が確立した組織での活動を通して、規律や礼儀、団体行動等を身につけた進歩能力の高い人材の確保が期待されます。
- ④ 防犯や救急に際する知識や技術を習得しており、災害発生時の初期対応など事業所の災害対応能力の向上に繋がることが期待されます。

④認証制度の流れ



徳島市消防団
 TOKUSHIMA FIRE VOLUNTEER CORPS

【問い合わせ先】
 徳島市消防団 総務課 消防係
 徳島市番町1丁目10番地
 TEL: 089-826-5151

経済団体を通じた
 「学生消防団活動認証制度」の周知
 <徳島県徳島市>

大学生向けチラシの配布
 <徳島県徳島市>

- ⑦地域との連携
- ・学校などの教育機関やコミュニティスクール、少年消防クラブ等と連携した防災教育・訓練
 - ・自治会などの地域コミュニティ、防災士などの地域を支える様々な主体との連携



市内の高校と連携した避難訓練の実施
 <栃木県鹿沼市>



防災士の資格を有する学生から構成される学生消防団の導入
 <三重県四日市市>

働き方改革等の環境づくりのポイント

⑧消防団の負担軽減等の働き方改革を進める

- ・活動の効率化につながるアプリ等のデジタル技術の活用例の紹介
- ・操法大会や訓練等について、家庭や仕事の状況等に配慮した見直しや、参加の任意性の確保等による負担軽減策の提示
- ・世代を超えてフラットな立場で意見を出し合える風通しの良い組織づくり
- ・女性団員が主体となった活動チームの結成や女性幹部の登用等による女性が活躍できる環境づくり

LINEを活用した入団申請の電子化
＜京都府京都市＞

友達登録
LINE 公式アカウント



- ①二次元コードをスマホで読み取る
- ②友達登録しトークに進む



- ③メニューから「京の消防団」を選択
- ④「面談申込はこちら」からを選択



- ⑤希望の面談日程を選択

操法大会と入団促進イベントを
合体させた消防フェスティバルの企画
＜岐阜県高山市＞



⑨ハード面等の環境整備を進める

- ・詰所における女性用トイレ・更衣室の整備、子育て世代に向けた託児サービスの提供、小型・軽量化された車両・資機材の整備など、全ての団員が活動しやすい環境づくりの紹介



詰所における女性用トイレの整備
(イメージ)

(参考) 消防庁の各種施策

- ・消防庁の消防団員確保等に関する施策や過去に発出した通知を紹介

消防団の方向上モデル事業

- 社会環境の変化に対応した消防団運営等の普及・促進に向け、消防団の充実強化につながる地方公共団体の創意工夫を凝らした様々な分野の取組を支援する。
- 各取組をモデル事業として、全国へ横展開を図る。

消防団の方向上モデル事業の例

- 企業や大学と連携した入団促進
 - 消防団アプリの導入
 - 車両制表示装置の導入
- デジタル技術の活用
 - 消防団アプリの導入
 - 車両制表示装置の導入
- 災害現場で役立つ訓練の普及
 - 子供連れでも活動できる消防団の環境づくり
 - 子供連れでの火災活動
 - 子供連れでの火災活動
- 免許等取得環境の整備
 - 準中型免許等の取得環境整備
 - ドローン操縦技術習得支援

問合せ先

消防庁国民保護・防災部防災課 地域防災室
TEL：03-5253-7561